

第3章 近隣・類似市町村のバスサービス体系の現状

ここでは、愛知県全体の状況及び近隣や類似市町村のデータについてとりまとめます。

1 愛知県内のバス等の運行状況

(1) 自主運行バス等の運行状況

愛知県では、平成24年5月現在で県内の市町村における自主運行バス等の運行状況について調査しており、その結果について紹介します。

コミュニティバスの定義については、法的な定義付けはされていません。

国土交通省の定義を参考に、「交通空白地域・不便地域の解消（地域住民の日常生活の足の確保）等を図るため、市町村等が主体的に計画し運行する（有償・無償を問わない）一般乗合バス」とします。

コミュニティバスの運行状況は、平成24年5月1日現在、県内のコミュニティバスは54市町村のうち、49市町村（約91%）で運行されています。

運行形態は、都市部では、市町村が主体となって乗合事業者に運行を委託する道路運送法第4条での運行が多く、山間部では、市町村が直営で有償運送を行う道路運送法第79条での運行が多くなっています。

合併により都市部と山間部を抱える豊田市、新城市では、道路運送法4条と79条による運行が併用されています。

表：市町村自主運行バス等の運行状況

	自主運行バス種別			市町村が特定の施設への送迎目的で運行を行っているもの	乗合バス事業者の営業路線に対して市町村が補助しているもの	地域公共交通会議の設置状況（平成24年5月1日現在）
	市町村が主体となって乗合事業者へ運行委託しているもの（道路運送法4条許可）（旧21条許可を含む）	市町村が自ら有償運送を行っているもの（道路運送法79条登録）（旧80条許可）	市町村が無償で運送を行っているもの（道路運送法適用外）			
名古屋市	○			○		
豊橋市	○				○	○
岡崎市	○				○	○
一宮市	○				○	○
瀬戸市	○			○	○	○
半田市					○	
春日井市	○					○
豊川市	○			○		○
津島市	○					○
碧南市			○		○	
刈谷市			○		○	
豊田市	○	○		○	○	○
安城市	○				○	○
西尾市	○				○	○
蒲郡市				○	○	
犬山市	○			○		○
常滑市			○	○	○	
江南市	○				○	○
小牧市	○					○
稲沢市	○					○
新城市	○	○	○	○	○	○
東海市	○			○	○	○
大府市	○					○
知多市	○			○	○	○
知立市	○			○		○
尾張旭市	○					○
高浜市	○					○
岩倉市						
豊明市	○					○

表：市町村自主運行バス等の運行状況

	コミュニティバス			市町村が特定の施設への送迎目的で運行を行っているもの	乗合バス事業者の営業路線に対して市町村が補助しているもの	地域公共交通会議の設置状況（平成24年5月1日現在）
	市町村が主体となって乗合事業者へ運行委託しているもの（道路運送法4条許可）（旧21条許可を含む）	市町村が自ら有償運送を行っているもの（道路運送法79条登録）（旧80条許可）	市町村が無償で運送を行っているもの（道路運送法適用外）			
日進市	○					○
田原市	○			○	○	○
愛西市			○			
清須市	○					○
北名古屋	○			○		○
弥富市	○					○
みよし市	○					○
あま市						○
東郷町		○				○
長久手市	○					○
豊山町	○					○
大口町	○			○		○
扶桑町						
大治町			○			
蟹江町			○		○	
飛島村	○			○		○
阿久比町			○	○		
東浦町	○					○
南知多町	○			○	○	○
美浜町			○	○	○	
武豊町	○			○		○
幸田町			○			
設楽町	○	○	○	○	○	○
東栄町	○	○		○		○
豊根村		○				○

表：愛知県内のコミュニティバス運行状況

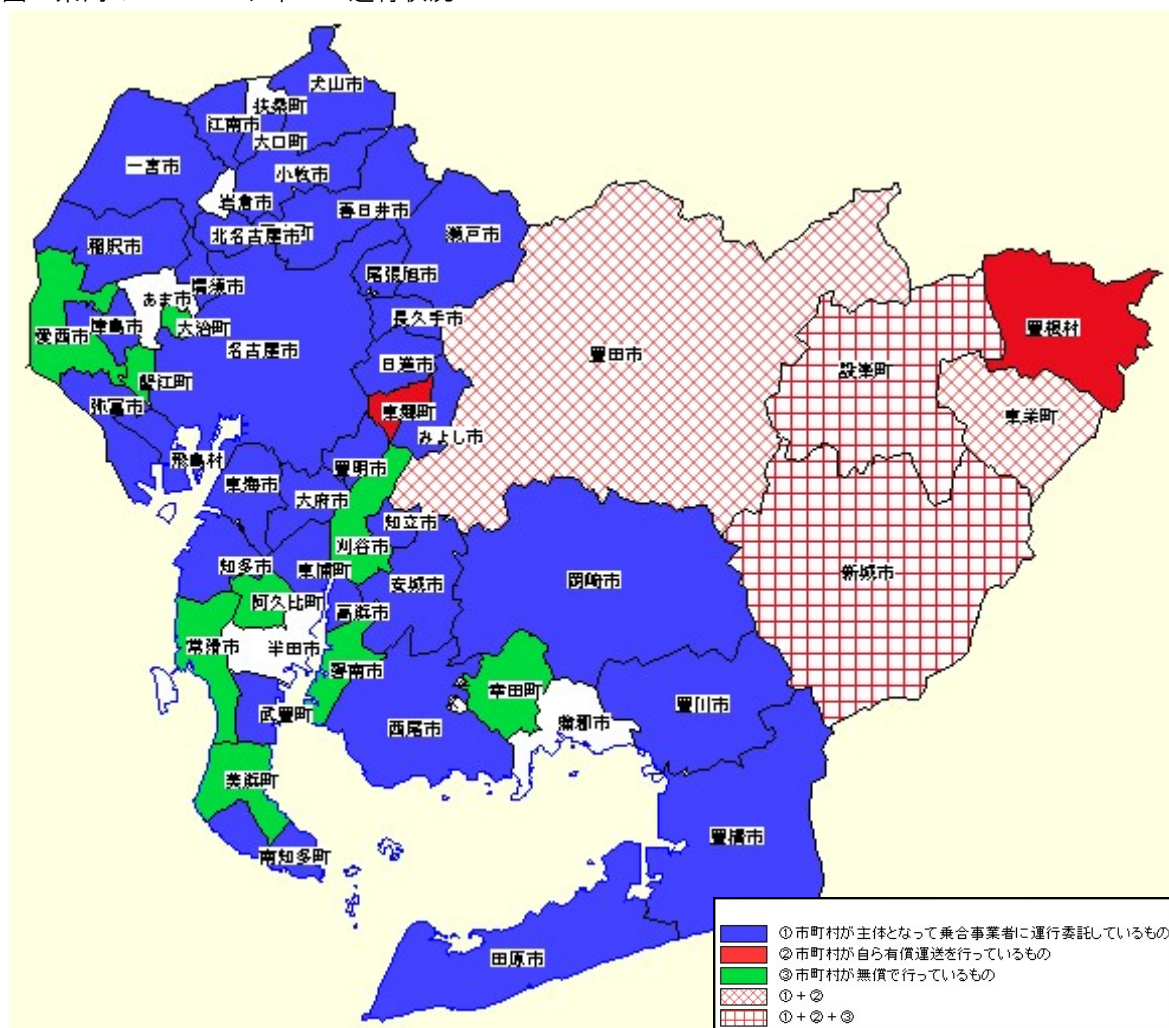
コミュニティバス			その他	
市町村が主体となつて乗合事業者 に運行を委託しているもの	市町村が自ら有償運送を行つて いるもの	市町村が無償で運送を行つて いるもの	市町村が特定の施設への送迎目的 で運行を行つているもの	乗合バス事業者の営業路線 に対して市町村が補助しているもの
道路運送法 4 条許可	道路運送法 79 条登録	道路運送法適用外	21 市町村	21 市町村
38 市町村	6 市町村	11 市町村		
コミュニティバス運行市町村数 49				

※複数の運行形態を採用している市町村があるため市町村数の合計は一致しません。

※東栄町、豊根村の3町村は、地域公共交通活性化再生法による法定協議会を共同で設置し、コミュニティバスを共同運行しています。

〈出典〉愛知県 県内市町村における自主運行バス等の運行状況（平成 24 年 5 月現在）

図：県内のコミュニティバス運行状況



〈出典〉愛知県 県内市町村における自主運行バス等の運行状況（平成 24 年 5 月現在）

(2) 市町村自主運行バスの利用状況

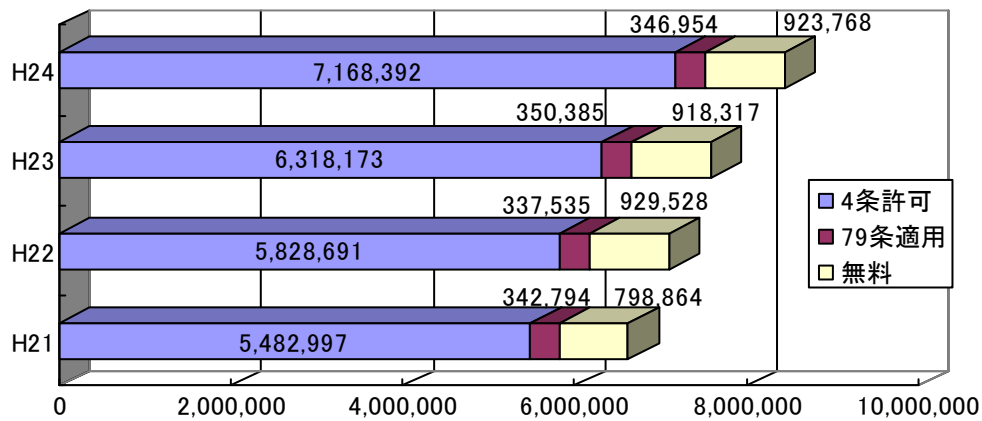
市町村自主運行バス（一般乗合）の利用者は、前年度調査時に比べて、11.2%増加した。これは、4条許可事業者による運行が13.5%増加したことが大きく影響しています。

79条登録による市町村が自ら有償運送を行っているバス利用者は▲1.0%減少、無償運行バスについては0.6%の増加となっています。

表：自主運行バスの利用状況

	4条許可	79条適用	無料
H21	5,482,997	342,794	798,864
H22	5,828,691	337,535	929,528
H23	6,318,173	350,385	918,317
H24	7,168,392	346,954	923,768

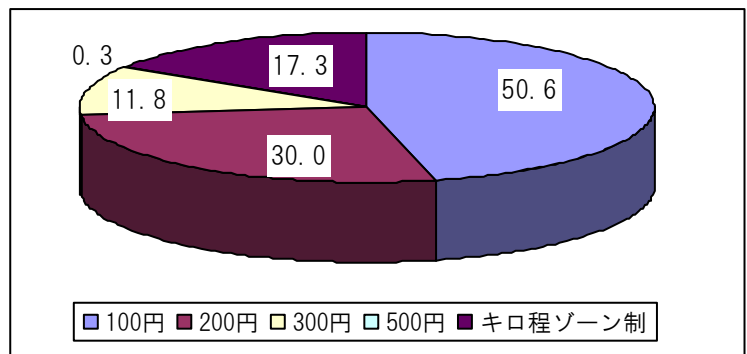
<出典>愛知県 県内市町村における自主運行バス等の運行状況（平成24年5月現在）



(3) 運賃設定の状況

100円均一運賃の路線が全体の50%以上を占めています。

均一運賃を採用する路線は全体の83%であり、分かりやすい運賃体系を採用する路線が多くなっています。



<出典>愛知県 県内市町村における自主運行バス等の運行状況（平成24年5月現在）

(4) 地域公共交通会議等の設置状況

地域公共交通会議とは、地域公共交通会議の設置及び運営に関するガイドライン（平成18年9月15日 国土交通省）によると、以下の目的、設置及び運営に基づいた会議を指しています。

愛知県内では、道路運送法による地域公共交通会議は40市町村で38会議設置（全市町村の約74%）しています。

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律による法定協議会は20市町村で18会議設置（地域公共交通会議と兼ねています）。ただし、北設楽郡（設楽町、東栄町、豊根村）は3町村合同で地域公共交通会議・法定協議会を設置しています。

地域公共交通会議の設置及び運営に関するガイドラインより

1. 地域公共交通会議の目的

地域公共交通会議は、地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様及び運賃・料金等に関する事項、市町村運営有償運送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項、その他これらに関し必要となる事項を協議するため設置するものとし、地域の需要に即した乗合運送サービスが提供されることにより地域住民の交通利便の確保・向上に寄与するよう努めるものとする。

2. 地域公共交通会議の設置及び運営

(1) 地域公共交通会議は、一又は複数の市町村（特別区を含む。以下同じ。）又は都道府県が主宰する。都道府県単位で地域公共交通会議を設置する場合には、都道府県の区域を交通圏、経済圏等を勘案したブロックに分割し、それぞれのブロックごとの分科会形式などにより開催することが望ましい。また、道路運送法施行規則（昭和26年運輸省令第75号。以下「施行規則」という。）第15条の4第2号及び「地域協議会の要件に関する告示」（平成13年国土交通省告示第1202号）に規定する地域協議会の分科会とすることもできる。

(2) 地域公共交通会議は、地方公共団体の長が主宰するものとする。また、複数市町村の合同で主宰する場合及び都道府県が主宰する場合は、都道府県及び市町村がそれぞれ担当の窓口を定めるとともに、運営において重要な事項については関係市町村等の協議により決定する等、緊密な連携と適切な役割分担のもと円滑な運営が確保されるよう努めるものとする。

(3) 地域公共交通会議の会長は、必ずしも地方公共団体の職員のみでなく、地域公共交通会議の構成員の中から互選により選任することもできるものとする。また、地域公共交通会議の要綱に定めることによって、副会長その他運営に必要な役員を置くこと

及び地域公共交通会議委員の任期を定めることができるものとする。

(4) 地域公共交通会議を設置した地方公共団体は、設置した旨を公表するものとする。

(5) 地域公共交通会議は、原則として公開とする。ただし、開催日時及び場所、議題、協議の概要、合意事項等を記載した議事概要の公開をもってこれに代えることができるものとする。

(6) 地域公共交通会議は、必要と認める場合には、地域公共交通会議の下に幹事会をおくことができるものとする。幹事会は、申請内容の事前審査、地域公共交通会議の円滑な運営のための方法（関係者の合意に関する部分を除く。）の審査を行い、幹事会において審査した事項に関して地域公共交通会議に報告するものとする。

3. 協議を行うに当たっての具体的指針

地域公共交通会議においては、次の(1)～(3)に掲げる事項について、それぞれに定める事項に留意しつつ、具体的な協議を行うものとする。なお、協議が調った事項を変更しようとする場合も同様とする。

(1) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様及び運賃・料金等に関する事項

- ①運行の態様
- ②運賃及び料金
- ③事業計画（路線、営業区域、使用車両等）
- ④運行計画
- ⑤路線又は営業区域の休廃止等
- ⑥運行主体の選定
- ⑦その他必要と認められる措置

(2) 市町村運営有償運送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項

- ①市町村運営有償運送の必要性
- ②旅客から収受する対価
- ③その他必要と認められる措置

(3) 交通会議の運営方法その他地域公共交通会議が必要と認める事項

4. 地域公共交通会議の構成員

(1) 地域公共交通会議の構成員は、施行規則第9条の3第1項に掲げる者とする。ただし、地域の実情により、構成員に上記以外の者を加えることができる。

(2) 構成員を選任し、又は変更するに当たっては、地域公共交通会議の公正・中立な運営を行い得るよう、施行規則第9条の3第1項に掲げる構成員ごとのバランスに留意し、特定の者に偏らないよう配慮する。

5. 地域公共交通会議の合意

(1) 地域公共交通会議における合意の方法

地域公共交通会議において協議が調った場合に、地域公共交通会議における合意があったものとみなす。地域公共交通会議の協議を行うに当たっては、公正・中立な運営を確保するため、構成員のバランスにも配慮し委員の選任を行うとともに、関係者間のコンセンサスの形成をめざして、十分議論を尽くして行うものとする。

議決については、円滑な運営を確保するため、あらかじめ地域公共交通会議の設置要綱に議決に係る方法を定めるものとする。

地域公共交通会議は、施行規則第9条第2項又は施行規則第51条の3第4号に規定する書類を、地域公共交通会議における協議が調った場合に申請者（届出者）に対し交付するものとする。

(2) 地域公共交通会議の合意を解除する場合

法第79条の12第1項第4号に規定する合意の解除については、合意を解除しようとするに至った事実及び理由を示して協議を行うものとする。

2 近隣・類似市町村における自治体バス等の運行状況

近隣・類似市町村として、一宮市、津島市、江南市、稲沢市、清須市、弥富市、蟹江町、桑名市、木曾岬町、海津市、羽島市について情報収集することとしました。

(1) 各自治体の基本情報

まず、基本情報として、各自治体の状況は以下の通りです。

総人口や人口構成等をみると、津島市、清須市、羽島市が愛西市に類似していると思われます。

特に津島市においては、生活圏として利用している市民も多く、本市が津島市の市街地周辺を取り囲むような地形となっており、人口等だけでなく、地域的にも密接に関係した自治体であることがうかがえます。

表：各自治体の人口と世帯

	人口						世帯（世帯）		
	総数 （人）	15歳未満 （人）	15～64歳 （人）	65歳以上 （人）	昼間人口 （人）	高齢化率 （%）	一般世帯数	うち、 高齢単身者世帯	うち、 高齢夫婦世帯
愛西市	64,978	9,496	39,771	15,690	51,717	24.2	20,731	1,325	2,612
一宮市	378,566	56,307	236,659	82,915	328,856	22.1	135,702	9,783	15,206
津島市	65,258	9,411	40,322	15,230	61,676	23.4	23,484	1,918	2,777
江南市	99,730	14,639	62,694	22,099	84,170	22.2	35,741	2,580	4,323
稲沢市	136,442	19,389	87,803	29,250	129,944	21.4	47,489	2,930	4,879
清須市	65,757	9,372	42,792	13,215	60,523	20.2	25,319	1,802	2,369
弥富市	43,272	6,400	27,479	9,157	41,770	21.3	15,028	850	1,536
蟹江町	36,688	5,065	23,904	7,521	29,589	20.6	14,066	1,048	1,390
桑名市	140,290	20,392	88,084	29,981	130,289	21.7	51,461	3,673	5,574
木曾岬町	6,855	797	4,466	1,592	6,070	23.2	2,247	105	208
海津市	37,941	4,783	24,175	8,966	32,372	23.6	11,631	668	1,131
羽島市	67,197	10,087	42,600	14,101	57,563	21.1	22,662	1,250	2,154

※高齢化率とは、65歳以上の総人口に占める割合を示す。

※高齢夫婦世帯とは、夫65歳以上妻60歳以上の夫婦1組を示す。

〈出典〉平成22年国勢調査（総務省）

(2) 各自治体のバス等の運行状況

①愛西市

愛西市巡回バスは、市が栄進物流(株)に運行を委託している巡回バスです。

公共施設利用の利便性向上を目的とし佐屋ルート・立田ルート・八開ルート・佐織ルート・庁舎間ルートの5路線を、運賃無料で月曜日から土曜日まで運行しています。

バス等の愛称		愛西市巡回バス						
運行目的		交通弱者の生活の足の確保						
運転・管理等委託事業者名		栄進物流(株)						
路線(系統)名		佐屋ルート 1コース市 江・佐屋北 廻り	佐屋ルート 2コース市 江・佐屋北 廻り	佐屋ルート 3コース佐 屋・南廻り	佐屋ルート 4コース佐 屋・南廻り	立田ルート 1コース	立田ルート 2コース	
起点		市役所本庁 舎	市役所本庁 舎	市役所本庁 舎	市役所本庁 舎	立田庁舎	立田庁舎	
経由		佐屋老人福 祉センター	佐屋老人福 祉センター	佐屋老人福 祉センター	佐屋老人福 祉センター	市役所本庁 舎	市役所本庁 舎	
終点		市役所本庁 舎	市役所本庁 舎	市役所本庁 舎	市役所本庁 舎	立田庁舎	立田庁舎	
系統キロ(km)		41.7				58.6		
運行の態様		路線定期						
運行開始年月		平成4年4月				平成19年9月		
使用車両・台数		バス(29人乗)・3台				ワゴン車(15人乗)・1台		
車両所有者		市				市		
基本運行日		月～土(祝日、年末年始を除く)						
1日運行回数		4	2～3	4	2～3	2～3	2	
23年 度実 績	運行経費(千円)		41,454					
	他団体から の補助	団体名	-	-	-	-	-	-
		補助額 (千円)	-	-	-	-	-	-
	市町村実負担額(千円)		41,454					
	年間利用者数(人)		81,445				6,064	
1便当り利用者数(人)		19.9				4.1		

<出典>愛知県 県内市町村における自主運行バス等の運行状況(平成24年5月現在)

バス等の愛称	愛西市巡回バス						
運行目的	交通弱者の生活の足の確保						
運転・管理等委託事業者名	栄進物流(株)						
路線(系統)名	八開ルート1コース	八開ルート2コース	佐織ルート1コース西川端廻り	佐織ルート2コース草平廻り	佐織ルート3コース北河田廻り	佐織ルート4コース勝幡廻り	庁舎間ルート1コース
起点	八開庁舎	八開庁舎	佐織総合福祉センター	佐織総合福祉センター	佐織総合福祉センター	佐織総合福祉センター	市役所本庁舎
経由	佐織庁舎	佐織庁舎	湊高駅	町方駅	藤浪駅	勝幡駅	八開庁舎
終点	八開庁舎	八開庁舎	佐織総合福祉センター	佐織総合福祉センター	佐織総合福祉センター	佐織総合福祉センター	市役所本庁舎
系統キロ(km)	57		42.3				36.5
運行の態様	路線定期						
運行開始年月	平成19年9月		平成5年12月				平成21年9月
使用車両・台数	ワゴン車(15人乗)・1台		バス(29人乗)・1台				バス(24人乗)・1台
車両所有者	市		市				市
基本運行日	月～土(祝日、年末年始を除く)						
1日運行回数	2	2～3	3	3	3	3	2
23年度実績	運行経費(千円)		41,454				
	他団体からの補助	団体名	-	-	-	-	-
		補助額(千円)	-	-	-	-	-
	市町村実負担額(千円)		41,454				
	年間利用者数(人)		6,347		18,403		
1便当り利用者数(人)		4.3		20.9			7.5

<出典>愛知県 県内市町村における自主運行バス等の運行状況(平成24年5月現在)

②一宮市

一宮市の自主運行バスは、2種類あります。

1種類目のi-バス（アイバス）は、市が名鉄バスに運行を委託しているコミュニティバスです。

路線は、4路線5系統で、毎日運行しており、運賃は1乗車100円（未就学時は無料）で、各系統1日10本運行しています。

エコハウス138停留所で、各路線の相互乗り継ぎができるようなダイヤになっています。

2種類目の生活交通バスは、市がスイトトラベルに委託して運行しているコミュニティバスです。

路線は2路線で、毎日運行しており、運賃は1乗車200円（小学生は100円）で、各系統1日6～7本運行しています。

表：バスの基本情報（i-バス）

バス等の愛称		i-バス				
運行目的		自動車を使えない市民の移動手段の確保を念頭に置きつつ、特に「公共施設の利便性の向上」「高齢者、障害者、子供の社会参加の促進」に重点を置く。				
委託事業者名		名鉄バス（株）				
路線（系統）名		一宮コース・右回り	一宮コース・左回り	尾西北コース	尾西南コース	木曾川・北方コース
起点		一宮駅	一宮駅	エコハウス138	萩原駅	エコハウス138
経由		【循環】			往復及び循環	【循環】
終点		一宮駅	一宮駅	エコハウス138	萩原駅	エコハウス138
系統キロ（km）		14.7	14.7	18.1	21.4	16.7
運行の態様		路線定期				
運行開始年月		平成13年4月			平成19年7月	
使用車両・台数		中型バス（56人乗）・1台	中型バス（56人乗）・1台	中型バス（56人乗）・1台	マイクロバス（25人乗）1台	マイクロバス（25人乗）1台
車両所有者		事業者			市	
基本運行日		毎日（年末年始を除く）				
1日運行回数		10	10	10	8	10
運賃	基本運賃	100円均一				
	運賃特例	未就学児無料				
	運賃収入先	事業者				
23年度実績	運行経費（千円）	16,824	16,824	19,375	17,528	16,849
	運賃収入（千円）	6,714	6,860	3,342	1,905	2,229
	市町村実負担額（千円）	10,110	9,964	16,033	15,623	14,620
	年間利用者数（人）	69,782	71,499	34,965	19,753	23,348
	1便当り利用者数（人）	19.4	19.9	9.7	6.9	6.5

<出典>愛知県 県内市町村における自主運行バス等の運行状況（平成24年5月現在）

表：バスの基本情報（生活交通バス）

バス等の愛称		生活交通バス	
運行目的		交通空白地区の解消	
委託事業者名		スイトトラベル（株）	
路線（系統）名		ニコニコふれあいバス	千秋ふれあいバス
起点		一宮駅	一宮駅
経由			
終点		萩の里	千秋病院
系統キロ（km）		18.6	26.6
運行の態様		路線定期	
運行開始年月		平成19年11月	
使用車両・台数		小型バス（37人乗）・1台	小型バス（37人乗）・1台
車両保有者		リース会社	
基本運行日		毎日（年末年始を除く）	
1日運行回数		10	7
運賃	基本運賃	200円 小人100円	
	運賃特例	未就学児無料	
	運賃収入先	事業者	
23年度実績	運行経費（千円）	12,566	12,134
	運賃収入（千円）	8,272	6,112
	市町村実負担額（千円）	4,294	6,022
	年間利用者数（人）	44,298	32,914
	1便当り利用者数（人）	12.3	13.1

<出典>愛知県 県内市町村における自主運行バス等の運行状況（平成24年5月現在）

③津島市

津島市ふれあいバスは、市が名鉄バスに運行を委託しているコミュニティバスです。

津島駅を起終点として、4コースあるうち、Aコース（公共施設巡回コース）は、週6回（月～土）、Aコース以外の3コースは週4回運行しており、全コース市民病院と市役所を経由します。運賃は1乗車100円（小学生以下は無料）となっています。

表：バスの基本情報（ふれあいバス）

バス等の愛称		ふれあいバス			
運行目的		市民、利用者の活動支援及び公共交通施設利用の利便性を図る。			
委託事業者名		名鉄バス(株)津島営業所			
路線（系統）名		Aコース（公共施設巡回コース）	Bコース（神島田コース）	Cコース（神守北周りコース）	Dコース（神守南周りコース）
起点		津島駅	津島駅	津島駅	津島駅
経由		【循環】			
終点		津島駅	津島駅	津島駅	津島駅
系統キロ（km）		11	17.3	19.1	17.7
運行の態様		路線定期			
運行開始年月		平成13年10月			
使用車両・台数		バス(38人乗)・2台			
車両保有者		事業者			
基本運行日		月～土（年末年始を除く）	月・水・金・土（年末年始を除く）	月・火・木・土（年末年始を除く）	火・水・木・金（年末年始を除く）
1日運行回数		8	5	5	5
運賃	基本運賃	100円均一			
	運賃特例	津島駅にて乗継可小学生以下無料			
	運賃収入先	事業者			
23年度実績	運行経費（千円）	28,930			
	運賃収入（千円）	4,600			
	市町村実負担額（千円）	23,805 （広告収入525）			
	年間利用者数（人）	23,735	8,679	12,161	8,542
	1便当り利用者数（人）	9.6	8.4	11.9	8.3

<出典>愛知県 県内市町村における自主運行バス等の運行状況（平成24年5月現在）

④江南市

いこまいC A R（いこまいかー）は、市が名鉄西部交通に委託して運行しているコミュニティバスです。

路線は2路線で、毎日運行しており、運賃は1区間100円（小学生以下無料）となっています。

名鉄タクシーの中型車（定員5名）をそのまま使用しています。満員になった場合は、運転手が臨時便を手配して対応をします。

表：バスの基本情報（いこまいC A R）

バス等の愛称		いこまいC A R（定期便）	
運行目的		公共施設を中心とした施設間を結ぶ交通手段の確保及び市民の地域社会への参加促進	
委託事業者名		名鉄西部交通(株)	
路線（系統）名		すいとびあ江南コース	県営松竹住宅コース
起点		すいとびあ江南	県営松竹住宅
経由			老人福祉センター前
終点		江南厚生病院	市役所
系統キロ（km）		3	3.8
運行の態様		路線定期	
運行開始年月		平成20年4月	平成14年1月
使用車両・台数		タクシー（4人乗り）・1台	タクシー（4人乗り）・1台
車両保有者		事業者	
基本運行日		毎日（年末年始を除く）	
1日運行回数		17.5	
運賃	基本運賃	100円均一	
	運賃特例	未就学児童無料ただし、保護者同伴	
	運賃収入先	事業者	
23年度実績	運行経費（千円）	3,796	4,880
	運賃収入（千円）	438	1,244
	市町村実負担額（千円）	3,358	3,636
	年間利用者数（人）	4,378	12,442
	1便当り利用者数（人）	0.4	1

<出典>愛知県 県内市町村における自主運行バス等の運行状況（平成24年5月現在）

⑤稲沢市

稲沢市コミュニティバスは、市が名鉄西部交通に運行を委託しているコミュニティバスです。

稲沢市には稲沢市巡回バス、ふれ愛タクシーなどがありましたが、これらの路線を統廃合したものです。

路線は4路線で運賃は1乗車200円（小学生100円、未就学児無料）です。

9人乗り・14人乗りのジャンボタクシーで運行しており、祖父江地区では、コミュニティバスに接続する予約制のコミュニティタクシーを運行しています。

表：バスの基本情報（稲沢市コミュニティバス）

バス等の愛称		稲沢市コミュニティバス			
運行目的		①市内交通空白地帯の解消 ②高齢者・交通弱者の社会参加支援 ③公共施設等への交通手段 ④地域間交流の促進			
委託事業者名		名鉄西部交通株			
路線（系統）名		祖父江・下津線 （ふれあいの郷系統）	祖父江・下津線 （地泉院系統）	平和・千代田線	大里循環線
起点		祖父江口	国府宮駅	平和支所・らくらくプラザ	アピタ稲沢
経由		リフォーク稲沢	リフォーク稲沢	市民会館・中央図書館	【循環】
終点		アピタ稲沢	地泉院前	ヨシツヤ平和店	アピタ稲沢
系統キロ（km）		24.7	27.3	17.6	27.3
運行の態様		路線定期			
運行開始年月		平成22年7月			
使用車両・台数		ワゴンタイプ（14人乗）1台		ワゴンタイプ（9人乗）1台	
車両保有者		事業者			
基本運行日		月～土曜日（祝日、12月29日～翌年1月3日及びはだか祭開催日を除く）			
1日運行回数		3～4	3～4	4	6
運賃	基本運賃	200円均一			
	運賃特例	・同日乗継は1乗車1回まで無料 ・小学生100円均一 未就学児無料			
	運賃収入先	事業者			
23年度実績	運行経費（千円）	49,337			
	運賃収入（千円）	11,458			
	市町村実負担額（千円）	37,879			
	年間利用者数（人）	20,505	18,687	7,014	13,663
	1便当り利用者数（人）	8.7	9.1	6	7.7

<出典>愛知県 県内市町村における自主運行バス等の運行状況（平成24年5月現在）

表：バスの基本情報（稲沢市コミュニティタクシー）

バス等の愛称	稲沢市コミュニティタクシー											
運行目的	①市内交通空白地帯の解消 ②高齢者・交通弱者の社会参加支援 ③公共施設等への交通手段 ④地域間交流の促進											
委託事業者名	名鉄西部交通株											
路線（系統）名	バス接続区間短距離									バス接続区間長距離		
起点	山崎	富士美ヶ丘	野田北	大牧	二俣	島本	ナビタウン	甲新田	丸甲小学校	広口	馬飼	西鶴之本
経由	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
終点	祖父江支所（コミュニティバス接続停留所）											
系統キロ（km）	（概ね2km以内）									（概ね2km以上）		
運行の態様	路線不定期											
運行開始年月	平成22年7月											
使用車両・台数	タクシー（4人乗）											
車両保有者	事業者											
基本運行日	月～土曜日（祝日、12月29日～翌年1月3日及びはだか祭開催日を除く）											
1日運行回数	電話予約（バス利用2時間前）による											
運賃	基本運賃	100円均一									200円均一	
	運賃特例	-										
	運賃収入先	事業者										
23年度実績	運行経費（千円）	4										
	運賃収入（千円）	1										
	市町村実負担額（千円）	3										
	年間利用者数（人）	11										
	1便当り利用者数（人）	-										

<出典>愛知県 県内市町村における自主運行バス等の運行状況（平成24年5月現在）

⑥清須市

きよすあしがるバスは、愛知県清須市がつばめ自動車に運行を委託しているコミュニティバスです。

運営は市役所の企画調整課が行っていますが、運行は名古屋市のつばめ自動車に委託しています。

ハイエースを路線バス架装し、オレンジルート・グリーンルートは乗車定員 12 名、サクラルートは 8 名となっています。

運賃は 1 乗車 100 円で、小学校入学前の未就学児は無料です。

三系統とも西枇杷島庁舎からヨシツヤ清洲店までを、オレンジルート・グリーンルートは 1 日 8 便（4 往復）、サクラルートは 1 日 5 便運行しています。

表：バスの基本情報（きよすあしがるバス）

バス等の愛称		きよすあしがるバス				
運行目的		市民が市役所各庁舎や各種公共施設を利用するための交通手段とするため。 また、高齢者や主婦層などの日中における市内移動の利便性を高め、もって市としての一体感を醸成するため				
委託事業者名		つばめ自動車(株)				
路線（系統）名		オレンジルート （西行き）	オレンジルート （東行き）	グリーンルート （西行き）	グリーンルート （東行き）	サクラルート （巡回）
起点		西枇杷島庁舎	ヨシツヤ清洲店	西枇杷島庁舎	ヨシツヤ清洲店	枇杷島駅西口
経由		市役所本庁舎	市役所本庁舎	市役所本庁舎	市役所本庁舎	【循環】
終点		ヨシツヤ清洲店	西枇杷島庁舎	ヨシツヤ清洲店	西枇杷島庁舎	枇杷島駅西口
系統キロ（km）		13.7		18.2		24.6
運行の態様		路線定期				
運行開始年月		平成 18 年 10 月				平成 21 年 10 月
使用車両・台数		ジャンボタクシー（12 人乗）・ 1 台		ジャンボタクシー（12 人乗）・ 1 台		ジャンボタクシー（8 人乗）・ 1 台
車両所有者		市				事業者
基本運行日		毎日（年末年始を除く）				
1 日運行回数		3.5		3.5		4
運賃	基本運賃	100 円均一				
	運賃特例	乗継自由未就学児無料				
	運賃収入先	事業者				
23 年度実績	運行経費（千円）	33,367				
	運賃収入（千円）	2,622				
	市町村実負担額（千円）	30,745				
	年間利用者数（人）	6,535		11,198		9,987
	1 便当り利用者数（人）	2.6		4.5		5.6

<出典>愛知県 県内市町村における自主運行バス等の運行状況（平成 24 年 5 月現在）

⑦弥富市

弥富市コミュニティバスは、愛知県弥富市が三重交通に運行を委託しているコミュニティバスです。

弥富市には弥富市（当時は弥富町）巡回福祉バスがありましたが、平成 22 年 6 月をもって弥富市コミュニティバスへの移行に伴い運行を終了しました。

コミュニティバスへの移行後は運賃が有料になり、運賃 200 円（小中学生・高校生・65 歳以上などは半額、未就学児は無料）となっています。

日曜祝日を除く週 6 日の運行をしており、近鉄弥富駅、佐古木駅を拠点に 3 ルートを運行しています。

表：バスの基本情報（きんちゃんバス）

バス等の愛称	きんちゃんバス			
運行目的	①市民生活の移動手段の確保 ②公共交通空白地域の解消			
委託事業者名	三重交通（株）			
路線（系統）名	北部ルート	南部ルート	東部ルート	
起点	総合福祉センター	総合福祉センター	総合福祉センター	
経由	【循環】			
終点	総合福祉センター	総合福祉センター	総合福祉センター	
系統キロ（km）	22	51.8	31.9	
運行の態様	路線定期			
運行開始年月	平成 22 年 6 月（試行）			
使用車両・台数	バス（27 人乗）・2 台	バス（59 人乗）・2 台	バス（27 人乗）・1 台	
車両保有者	事業者			
基本運行日	毎日（日・祝・年末年始除く）			
1 日運行回数	11～13.5	8～11	4～5	
運賃	基本運賃	200 円・100 円均一		
	運賃特例	乗継無料 75 歳以上無料未就学児無料		
	運賃収入先	事業者		
23 年度 実績	運行経費（千円）	134,060		
	運賃収入（千円）	4,977		
	市町村実負担額（千円）	79,368		
	年間利用者数（人）	21,314	37,679	7,249
	1 便当り利用者数（人）	3.3	7.8	2.9

<出典>愛知県 県内市町村における自主運行バス等の運行状況（平成 24 年 5 月現在）

⑧蟹江町

蟹江町お散歩バスは、愛知県海部郡蟹江町が(株)ワークシステムサービスに運行を委託しているコミュニティバスです。

路線は2コースあり、毎日運行しており、1日7便で運賃は無料となっています。

表：バスの基本情報（お散歩バス）

バス等の愛称		お散歩バス	
運行目的		公共施設等への交通手段の確保	
運転・管理等委託事業者名		町	
路線（系統）名		グリーンコース	オレンジコース
起点		福祉センター	福祉センター
経由		役場	役場
終点		福祉センター分館	福祉センター分館
系統キロ（km）		20.3	13.8
運行の態様		路線定期	
運行開始年月		平成22年4月	
使用車両・台数		バス（29人乗）・1台	バス（29人乗）・1台
車両所有者		町	
基本運行日		月～土（祝日・年末年始除く）	
1日運行回数		6	7
23年度実績	運行経費（千円）		7,639
	他団体からの補助	団体名	-
		補助額（千円）	-
	市町村実負担額（千円）		7,639
	年間利用者数（人）		19,081
1便当り利用者数（人）		11	17.8

<出典>愛知県 県内市町村における自主運行バス等の運行状況（平成24年5月現在）

(3) 近隣県（三重県・岐阜県）における自治体バス等の運行状況

①桑名市

K-バス（ケーバス）は、三重県桑名市が三重交通及び中日臨海バスに運行委託しているコミュニティバスです。

路線は、7コースあり、毎日運航しており、運賃は100円（未就学児は無料）となっています。

JRや近鉄等の鉄道駅を経由するコースとなっており、駅までの利便性が高いコースとなっています。

さらに、一部のコースでは乗車フリー区間を設けており、乗り降りが自由な区間があります。また、車両は小型ノンステップバス及びバリアフリー対応乗合タクシー車両を使用しています。

表：バスの基本情報（K-バス）

バス等の愛称		K-バス（ケーバス）				
運行目的		-				
委託事業者名		三重交通及び中日臨海バス				
路線（系統）名		東部ルート	西部北ルート	西部南ルート	北部ルート	南部ルート
起点		桑名駅メイト前	福祉センター	星川ピアゴ	桑名駅メイト前	桑名駅メイト前
経由		【往復】	【往復】	【往復】	【往復】	【往復】
終点		桑名駅メイト前	福祉センター	星川ピアゴ	桑名駅メイト前	桑名駅メイト前
系統キロ（km）		-	-	-	-	-
運行の態様		路線定期				
運行開始年月		平成13年4月				
使用車両・台数		小型ノンステップバス2台 ノンステップマイクロバス1台			小型ノンステップバス1台	小型ノンステップバス1台
車両保有者		-				
基本運行日		毎日 (年未年始を除く)				
1日運行回数		5	4	4	4	4
運賃	基本運賃	100円均一				
	運賃特例	未就学児は無料				
	運賃収入先	-				
23年度実績	運行経費（千円）	-	-	-	-	-
	運賃収入（千円）	-	-	-	-	-
	市町村実負担額（千円）	-	-	-	-	-
	年間利用者数（人）	-	-	-	-	-
	1便当り利用者数（人）	-	-	-	-	-

<出典> 桑名市ホームページより抜粋

表：バスの基本情報（K-バス）

バス等の愛称	K-バス（けーばす）					
運行目的	—					
委託事業者名	三重交通及び中日臨海バス					
路線（系統）名	多度美鹿ル ート	多度北ルー ト	多度南ルー ト	長島ルート 朝便	長島ルート 北まわり	長島ルート 南まわり
起点	前山	多度駅前	多度駅前	伊曾島駐在 所前	福祉健康セ ンター	福祉健康セ ンター
経由	【往復】	【往復】	【往復】	—	【往復】	【往復】
終点	前山	多度駅前	多度駅前	福祉健康セ ンター	福祉健康セ ンター	福祉健康セ ンター
系統キロ（km）	—	—	—	—	—	—
運行の態様	路線定期					
運行開始年月	平成13年4月					
使用車両・台数	バリアフリー対応型乗合タクシー（9人 乗）1台			小型ノンステップバス1台		
車両所有者	—					
基本運行日	毎日 （年末年始を除く）					
1日運行回数	12	4	4	1	4	4
運賃	基本運賃	100円均一				
	運賃特例	未就学児は無料				
	運賃収入先	—				
23年 度実績	運行経費（千円）	—	—	—	—	—
	運賃収入（千円）	—	—	—	—	—
	市町村実負担額（千 円）	—	—	—	—	—
	年間利用者数（人）	—	—	—	—	—
	1便当り利用者数 （人）	—	—	—	—	—

<出典> 桑名市ホームページより抜粋

②木曾岬町

木曾岬町自主運行バスは、三重県桑名郡木曾岬町が自主運行しているコミュニティバスです。

路線は2コースあり、毎日運航しており、基本運賃は200円（高校生以下、65歳以上、障がい者は100円、未就学児は無料）となっています。

近鉄弥富駅を終点とし、近鉄弥富駅への発着が午前7時前後から午後8時頃までとなっており、通勤通学などにも対応した利便性の高いコースとなっています。

表：バスの基本情報（木曾岬町自主運行バス）

バス等の愛称		木曾岬町自主運行バス	
運行目的		自家用自動車による乗合旅客運送を行うことにより、地域住民の生活交通手段を確保し、住民福祉の向上と交通安全のため運行しています。	
運転・管理等委託事業者名		木曾岬町	
路線（系統）名		中央線	源緑見入線
起点		上松永	木曾岬温泉
経由		往復巡回	往復巡回
終点		上松永	木曾岬温泉
系統キロ（km）		—	—
運行の態様		路線定期	
運行開始年月		平成19年4月1日	
使用車両・台数		2台	1台
車両所有者		—	
基本運行日		毎日	
1日運行回数		16	7
運賃	基本運賃	200円	
	運賃特例	高校生以下、65歳以上、障がい者は100円 未就学児は無料	
	運賃収入先	—	
23年度実績	運行経費（千円）		—
	他団体からの補助	団体名	—
		補助額（千円）	—
	市町村実負担額（千円）		—
	年間利用者数（人）		115,706
1便当り利用者数（人）		—	—

＜出典＞ 木曾岬町ホームページより抜粋

③海津市

海津市営バスは、岐阜県海津市がスイトトラベルに運行を委託しているコミュニティバスです。

過去の歴史や経緯により、3種類に分けられていましたが、平成21年4月に海津市コミュニティバスに改称し、その際にスイトトラベルへ運行の委託と、路線の再編が行われています。

8コースあり、いずれも駅又は、病院を経由するものとなっています。運賃は100円（小学生に満たない幼児は無料、小中学生、市内に住む65歳以上、障がい者、障がいの介助者1名は50円）となっています。

表：バスの基本情報（海津市コミュニティバス）

バス等の愛称		海津市コミュニティバス							
運行目的		-							
委託事業者名		スイトトラベル（株）							
路線（系統）名		海津羽島線	海津東回り線	海津西回り線	海津南回り線	平田お千代保稻荷線	平田北回り線	南濃北回り線	南濃南回り線
起点		石津駅	海津医師会病院	海津医師会病院	海津医師会病院	大須	大須	養南病院	働く女性の家
経由		【往復】	【循環】	【循環】	【循環】	【往復】	【往復】	【往復】	【往復】
終点		岐阜羽島駅	海津医師会病院	海津医師会病院	海津医師会病院	海津医師会病院	海津医師会病院	海津医師会病院	水晶の湯
系統キロ（km）		-	-	-	-	-	-	-	-
運行の態様		路線定期							
運行開始年月		平成21年4月							
使用車両・台数		2	1	1	1	1	1	1	1
車両保有者		-							
基本運行日		毎日	毎日 （年末年始を除く）	毎日 （年末年始を除く）	毎日 （年末年始を除く）	毎日 （年末年始を除く）	毎日	毎日 （年末年始を除く）	毎日 （年末年始を除く）
1日運行回数									
運賃	基本運賃	100円							
	運賃特例	小学生に満たない幼児：無料 小中学生、海津市内の65歳以上、障がい者とその介助者1名：50円							
	運賃収入先	-							
23年度実績	運行経費（千円）	-							
	運賃収入（千円）	-							
	市町村実負担額（千円）	-							
	年間利用者数（人）	-	-	-	-	-	-	-	-
1便当たり利用者数（人）		-	-	-	-	-	-	-	-

<出典> 海津市ホームページより抜粋

④羽島市

羽島市コミュニティバスは、岐阜県羽島市が岐阜羽島バス・タクシーに運行を委託しているコミュニティバスです。

羽島市には「羽島市公共施設巡回バス」と「羽島市代替バス」がありましたが、これらの一部路線を変更、統合したものです。

路線は、市内線2ルートと南部線2ルートがあり、週6日運行しています。運賃は100円均一となっています。

市内線は、2ルートともに市役所と市民病院を經由しており、1日5往復しています。

南部線は、名鉄竹鼻線を踏襲した路線で、一日30往復以上しています。

さらに、岐阜羽島駅には海津市営バスが乗り入れしており、海津市コミュニティバス「平田お千代保稲荷線」・「平田北回り線」と「大須」停留所にて結節しています。

表：バスの基本情報（羽島市コミュニティバス）

バス等の愛称		羽島市コミュニティバス			
運行目的		-			
委託事業者名		岐阜羽島バス・タクシー(株)			
路線(系統)名		市内線(赤バス)	市内線(青バス)	南部線(上り)	南部線(下り)
起点		羽島温泉	羽島温泉	大須	羽島市役所前駅
経由		【循環】	【循環】	【往復】	【往復】
終点		羽島温泉	羽島温泉	羽島市役所前駅	大須
系統キロ(km)		-	-	-	-
運行の態様		路線定期			
運行開始年月		平成19年10月			
使用車両・台数		1	1	1	1
車両保有者		-			
基本運行日		月～土曜日(祝日、12月29日～翌年1月3日及び市長が必要と定める日を除く)		毎日	
1日運行回数		5	5	34	34
運賃	基本運賃	100円		100円	
	運賃特例	次に該当する方は「無料」 ① 75歳以上の方 ② 障害者及びその介護人1名 ③ 小学生未満の方		小学生未満は無料	
	運賃収入先	-			
23年度実績	運行経費(千円)	-	-	-	-
	運賃収入(千円)	-	-	-	-
	市町村実負担額(千円)	-	-	-	-
	年間利用者数(人)	-	-	-	-
	1便当り利用者数(人)	-	-	-	-

<出典> 羽島市ホームページより抜粋

3 隣接自治体へ乗り入れしているコミュニティバス

愛知県内の隣接自治体へ乗り入れしているコミュニティバスについては、下記の一覧の通りですが、駅接続型、病院接続型、他市町村接続型の3パターンに分かれます。

バス路線の系統によっては、同市町村内の中心地へ行くよりも隣接自治体の駅や病院の方が近い場合等様々なケースがあり、スーパーや拠点施設への乗り入れなど多様な行き先となっています。

各地域の生活圈やニーズに合わせた路線を形成していることがうかがえます。

表：隣接自治体へ乗り入れしているコミュニティバスの基本情報

市町村名	バス愛称	路線名	乗入れ市町村	乗入れ場所 (バス停名)	運賃	駅接続	病院接続	他市町村接続	系統キロ (km)
瀬戸市	瀬戸市コミュニティバス	上之山線	豊田市	リニモ・愛環八草駅	100円	○		○	
		本地線	長久手市	愛知医大	100円		○	○	
碧南市	くるくるバス	あおコース みどりコース	安城市	安城榎前	無料			○	54
豊田市	高岡ふれあいバス	路線①	みよし市	明知下公民館	200円			○	22.4
		路線②	知立市	名鉄知立駅	200円	○		○	16.1
	稲武地域バス (どんぐりバス)	根羽線	根羽村(長野県)	根羽	200円			○	17.7
		水源東バス		岡崎市	門立	100円			○
安城市	あんくるバス	西部線	刈谷市	東刈谷駅	100円	○	○	○	22.9
		作野線							
新城市	新城市営バス	長篠山吉田線	浜松市(静岡県)	竹平・田沢	200円	○		○	37.9
		布里田峰線	設楽町	田峰	200円			○	17.5
大府市	ふれあいバス	中央西コース	東浦町	健康プラザ	100円	○	○	○	24.5
知立市	ミニバス	2コース	豊田市	名鉄三河八橋駅	100円	○		○	15.5
		3コース	刈谷市	JR東刈谷駅	100円	○		○	13.4
		4コース	刈谷市	JR野田新町駅	100円	○		○	15.3
尾張旭市	あさび一号	東ルート	長久手市	愛知医大	100円		○	○	24.2
			瀬戸市	西本地橋※パロー内	100円			○	
高浜市	いきいき号	市内コース 土曜日コース	碧南市	サンビレッジ衣浦	100円			○	9.2
		刈谷コース	刈谷市	刈谷豊田総合病院	100円		○	○	18.2

＜出典＞愛知県 県内市町村における自主運行バス等の運行状況（平成24年5月現在）

表：隣接自治体へ乗り入れしているコミュニティバスの基本情報

市町村名	バス愛称	路線名	乗入れ市町村	乗入れ場所 (バス停名)	運賃	駅接続	病院接続	他市町村接続	系統キロ (km)	
豊明市	ひまわりバス	2号若王子循環	東郷町	三ツ池	100円			○	11.1	
日進市	くるりんばす	西コース	名古屋市	東名古屋病院	100円	○	○		17.1	
		北コース	長久手市	リニモ長久手古戦場駅	100円	○		○	19.9	
		中央線	長久手市	リニモ長久手古戦場駅	200円	○		○	8.8	
みよし市	さんさんバス	交流路線生活路線	豊田市	豊田厚生病院	100円		○	○	29	
東郷町	じゅんかい君	北コース	日進市	名鉄日進駅	100円	○		○	12	
		東コース	日進市	名鉄米野木駅	100円	○		○	16.6	
		南コース	豊明市	藪田	100円			○	14.6	
長久手市	Nーバス	藤が丘線	名古屋市	藤が丘駅（藤が丘）	100円	○			8.2	
豊山町	とよやまタウンバス	北ルート	小牧市	小牧市役所前小牧市民病院小牧市武道館北	100～500円			○	○	10.8
		南ルート	名古屋市	黒川・県庁・栄	100～500円	○	○			14.1
大口町	大口町コミュニティバス	基幹ルート	扶桑町	名鉄柏森駅	100円	○	○		3.7	
		北部ルート	扶桑町	〃	100円	○	○		11.7	
		中部ルート	江南市	名鉄江南駅	100円	○	○	○	15.1	
		南部ルート	江南市	名鉄布袋駅	100円	○	○		14.2	
飛島村	飛島公共交通バス	名港線	名古屋市	あおなみ線稲永駅地下鉄築地口駅名古屋港他1箇所	500円 (飛島埠頭～名古屋港)	○				
			蟹江町	近鉄蟹江駅他9箇所	200円又は400円	○		○		
		弥富市	善太橋西他2箇所	(飛島埠頭～蟹江駅)						

<出典>愛知県 県内市町村における自主運行バス等の運行状況（平成24年5月現在）

表：隣接自治体へ乗り入れしているコミュニティバスの基本情報

市町村名	バス愛称	路線名	乗入れ市町村	乗入れ場所 (バス停名)	運賃	駅接続	病院接続	他市町村接続	系統キロ (km)
東浦町	う・ら・ら	刈谷線	刈谷市	刈谷豊田総合病院 JR・名鉄刈谷駅	100円	○	○	○	5.5
		長寿線	大府市	げんきの郷	100円			○	6.9 ～ 7.6
				あいち健康プラザ 長寿医療センター			○		
南知多町	海っ子バス	豊浜線A系統	美浜町	河和駅ほか8箇所	160円・300円の ゾーン運賃	○		○	10.6
		豊浜線B系統		河和駅ほか8箇所		○		○	14.5
		豊浜線C系統		河和駅ほか7箇所		○	○	○	18.8
		豊浜線D系統		河和駅ほか8箇所		○	○	○	19.2
		西海岸線B系統		河和駅ほか3箇所		○	○	○	23.5
設楽町	設楽町営バス	稲武線	豊田市	稲武	100円～500円		○	○	24.9
		東栄設楽線	東栄町	本郷	100円～300円			○	22.9
		三都橋豊邦線	新城市	鳴沢橋	100円～400円				24.2
東栄町	東栄町営バス	東栄設楽線	設楽町	神田、田口	100円～300円			○	22.9
		豊根東栄線	豊根村	石堂	100円～300円			○	44.2
豊根村	豊根村営バス	豊根設楽線	設楽町	下津具、田口高校前	100円～500円		○	○	43.1
		豊根東栄線	東栄町	東栄駅、布川	100円～300円	○	○	○	44.2
		富山線	浜松市(静岡県)	大嵐駅	200円	○			5.7

<出典>愛知県 県内市町村における自主運行バス等の運行状況(平成24年5月現在)